

令和6年度 第3回田原市図書館協議会議事録

日時：令和7年2月18日 午前10時～午前11時

場所：田原文化会館204会議室

出席者：協議会委員9名

(河合、本田、家禰、渡邊、一ツ田、内浦、小澤、北原、永田)
事務局3名(是住、彦坂、辻)

議事内容

- ・開会
- ・館長あいさつ
- ・委員長・副委員長の選出
- ・協議
 - 1) 前回の議事録の確認について
 - 2) 令和6年度田原市図書館事業の取組み結果について
 - ・第4回「たはら言の葉コンクール」の結果について(別紙1)
 - 3) 利用者アンケート等の実施について(別紙2、別紙3)
- ・報告事項
 - ・田原市議会第4回定例会一般質問について(別紙4)
 - ・令和7年度当初予算(案)について(別紙5)

事務局：本日は、お忙しいところ、ご出席くださりまして、ありがとうございます。ただいまの出席委員は9名です。過半数に達していますので、令和6年度第3回田原市図書館協議会は成立いたしました。これより開会いたします。

では、開会にあたり館長から挨拶をお願いします。

館長：本日はお忙しい中、図書館協議会にご出席いただき、ありがとうございます。昨年12月1日から新しい任期に入りました。みなさまのお手元に辞令を置かせていただいております。2年間、図書館協議会委員として皆様にお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。今回の任期中には、「まち＊ほん生涯読書振興計画」の改定や、赤羽根図書館の複合化など、今後の図書館の方向性を決めていくような大きな課題に取り組むこととなります。また、学校図書館の電算化や電子図書館サービスの導入を現在やっているところですが、デジタル化社会の中で利便性と、アナログによる人と人とのつながりの大切さなど、みなさ

まと議論しながら、今後5年間の指針となるようなものを作成できればと考えております。

本日は、今年度最後の図書館協議会ということで取組結果等を報告させていただく予定です。本日も様々なご意見を出していただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局：辞令については、席に配付させていただきました。任期は、令和6年1月1日から令和8年1月30日までの2年間です。よろしくお願いいたします。

次に、委員長・副委員長の選出について議題といたします。田原市図書館の管理運営に関する規則第20条の規定により、委員長、副委員長は委員の互選により選出となっています。

委員長の選出について、ご意見ございませんか。

委員：引き続き、河合委員にお願いできればと思います。

事務局：河合委員に委員長をお願いすることで、御異議ございませんか。

委員：(異議なし)

事務局：ご異議もないようですので、河合委員に委員長をお願いします。
次に、副委員長の選出について、ご意見ございませんか。

委員：内浦委員が適任だと思います。

事務局：内浦委員に副委員長をお願いすることで、御異議ございませんか。

委員：(異議なし)

事務局：ご異議もないようですので、内浦委員に副委員長をお願いします。
それではここからは議事の進行を委員長である河合委員をお願いします。

委員長：よろしくお願いいたします。それでは、協議事項1「前回の議事録の確認について」事務局から説明をお願いします。

館 長：今回の開催通知に前回の議事録の案を同封させていただきました。修正箇所や気になるところはありませんでしたでしょうか。

(特になし)

では、こちらの内容でご了承いただけたということで、図書館のホームページに掲載したいと思います。

委員長：それでは、次に、協議事項2「令和6年度田原市図書館事業の取組み結果について」「第4回たはら言(こと)の葉(は)コンクールの結果について」事務局から説明をお願いします。

館 長：(配布資料に基づいて説明)

委員長：ただいまの件について、質問や意見がありましたらお願いします。

委 員：小中高の子どもからの応募はあったのか。

館 長：親子での応募などがあった。今回ではないが、小学校のクラス単位で短歌を作って応募してくれたことがあった。

委 員：子ども賞のようなものがあっても良いかもしれない。

委 員：募集の際に、全国からも募集を促すような仕掛けはあるのか。

館 長：公募ガイドのような全国レベルの公募サイトに載せることもあったが、そうすると他府県からの応募が殺到して選考が大変だったこともあったので、スタート時点では公募サイトには掲載せず、「広報たはら」や、図書館ホームページや館内の掲示でなるべく市民から多く応募を募って、応募数が少ないようなら、公募サイトにも掲載するようにしている。

委員長：その他にご質問や意見はよろしいですか。では次に協議事項3「利用者アンケート等の実施について」事務局から説明をお願いします。

館 長：(配布資料に基づいて説明)

委員長：それでは、質問や意見がありましたらお願いします。

委員：別紙2の最後から2番目がTwitterとなっているのが、今はXとなっているので、X (Twitter) としたらどうか。

館長：そのように修正する。また、今年度からInstagramも始めたので、そちらも項目に追加したい。

委員：別紙3の先ほど説明があった、読んだ本の数や種類について、全国学校図書館協議会が読書調査をやっていると思うので、そのあたりの指標を参考にしたら比較できるのではないか。

館長：全国学校図書館協議会の読書調査を意識して、比較できるように同じような質問項目にしている。田原の場合は1月の1か月間に読んだ本の数、全国の場合は5月とかの1か月間ということで、違いはあるが、比較できるように考えている。ただ、電子書籍の扱いを全国学校図書館協議会がどのように考えているのかが、まだ分からない。

委員：性別欄が気になる。

館長：男と女、そして「答えたくない」という選択肢を加えている。性別を聞く項目自体を無くす方が良いのではないかという意見もあるかと思うが、読書傾向を分析するためには性別は取得したい項目と考えている。

委員：当事者にとって、どういう言葉だと傷つかないか。直接聞いてみないと私たちでは分からないのではないか。

館長：今回のアンケートについては、この形式で調査を学校側に依頼しているが、次回以降に向けて、ジェンダーの問題に詳しい方に聞くなどして、どのような文言がふさわしいか検討していきたい。

委員長：それでは、報告事項1つ目の「田原市議会第4回定例会一般質問について」に移りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

館長：(配布資料に基づいて説明)

委員長：それではただいまの説明についてご質問等ございましたら、お願いします。

委員：前日も発言したが、地域住民の意見の代表が赤羽根地域コミュニティ連絡協議会のみとなっている。この硬直性について違和感がある。幅広く住民の声を聞くという意識がないのかと思う。そして跡地利用についての関心が高くなっている。

館長：今回の答弁の内容としては、地域住民の声は各市民館を会場とした意見交換会やワークショップで意見を聞いているという答えになるのかと思う。跡地利用については何も決まっていない状況である。

委員長：続いて、報告の2つ目「令和7年度当初予算（案）について」事務局の説明をお願いします。

館長：（配布資料に基づいて説明）

委員長：それではただいまの説明についてご質問等ございましたら、お願いします。

館長：図書館の予算については、資料費などはほぼ同額となる予定。また、図書館システムの更新を予定している。10月末に1週間程度休館して、新しいシステムに入れ替えるための予算が付いている。

委員：このような資料を見せてもらえると全体像がとても分かりやすい。

館長：ちょうどタイミングよく先日、予算案の記者発表があったので、図書館協議会でも見ていただくことが出来た。今後、議会での審査を経て、承認されれば来年度の予算が決まっていく。

委員：図書館協議会でこのような資料を出してもらえるのは大変ありがたい。新聞で給食費の半額助成を行うなどとは出ていたが。

委員長：「その他」について、何かありますか。

それでは以上で、本日の議事は全て終了しました。

ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、令和6年度第3回田原市図書館協議会を閉会とさせていただきます。